

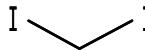


安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

昭和化学株式会社
東京都中央区日本橋本町4-3-8
担当
TEL (03) 3270-2701
FAX (03) 3270-2720
緊急連絡 同上
改訂日 2024/07/08
SDS整理番号 04205259

製品等のコード : 0420-5259、0420-4239
製品等の名称 : よう化メチレン
推奨用途 : 試薬 (有機合成原料、無機物の分離)
使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を仰ぐこと



2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
引火性液体 : 区分に該当しない
自然発火性液体 : 区分に該当しない
水反応可燃性化学品 : 区分に該当しない

健康に対する有害性
急性毒性 (経口) : 分類できない

絵表示又はシンボル : 該当なし

注意喚起語 : 該当なし

危険有害性情報 : 該当なし

注意書き

【安全対策】
保護眼鏡、保護手袋、保護衣、呼吸用保護具を着用すること。

【応急措置】
該当なし

【保管】
日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管すること。

【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「区分に該当しない(分類対象外も該当)」又は「分類できない」である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質
化学名 : よう化メチレン
(別名) ヨウ化メチレン、ジヨードメタン、メチレンジヨージド、二よう化メチレン
(英名) Methylene iodide、
Diiodomethane (EC名称)、
Methane, diiodo- (TSCA名称)

成分及び含有量	：	よう化メチレン、97.0%以上 安定化剤として、銅片を含有
化学式又は構造式	：	CH ₂ I ₂ 、構造式は上図参照(1ページ目)。
分子量	：	267.84
官報公示整理番号	：	(2)-43
化審法 安衛法	：	公表化学物質（化審法番号を準用）
CAS No.	：	75-11-6
EC No.	：	200-841-5
危険有害性成分	：	特になし

4. 応急措置

吸入した場合	：	呼吸が困難になった時は、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	：	皮膚を流水と石鹸で洗う。 皮膚刺激などが生じた時は、医師の処置を受ける。
目に入った場合	：	直ちに水で15分以上注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。 眼刺激が持続する時は、医師の治療を受ける。
飲み込んだ場合	：	口をすすぎ、うがいをする。 コップ数杯の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。 気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
予想される急性症状及び遅発性症状	：	情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	：	周辺火災に応じた消火剤を使用する。 粉末消火剤、二酸化炭素、散水、噴霧水、泡消火剤
使ってはならない消火剤	：	情報なし
特有の危険有害性	：	火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	：	風上から消火活動をする。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 環境に影響を出さないよう、できるだけ流出を防止する。
消火を行う者の保護	：	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	：	漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。 漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。 風上から作業し、粉じん、蒸気、ガスなどを吸入しない。 皮膚、眼などの身体とのあらゆる接触を避ける。 ミストが飛散する場合は、水噴霧し飛散を抑える。
環境に対する注意事項	：	環境中に放出してはならない。
回収、中和	：	漏洩物を乾燥土、砂やウエスなどで吸収し、空容器に回収する。 後で廃棄処理する。 後処理として、漏洩場所は大量の水を用いて洗い流す。
封じ込め及び浄化の方法・機材	：	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策	：	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	：	
技術的対策	：	本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。 ミスト、蒸気、粉じんなどの発生を防止する。
局所排気・全体換気	：	換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。
安全取扱い注意事項	：	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 取扱い後はよく手を洗う。 ミスト、蒸気、ガスを吸入しない。 内容物の漏洩及び蒸気の発散を極力防止する。
接触回避	：	湿気、水、高温体との接触を避ける。
保管	：	
技術的対策	：	保管場所は、採光と換気装置を設置する。
保管条件	：	日光や高温多湿を避けて保管する。 容器を密閉して冷暗所に保管する。

混触危険物質：混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。
：強酸化剤、アルカリ金属及びその塩
容器包装材料：ガラス

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：設定されていない。
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）：日本産衛学会
ACGIH：設定されていない。
設備対策：この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。
：取扱場所には局所排気又は全体換気装置を設置する。
保護具
呼吸器の保護具：呼吸器保護具（防じんマスク）を着用する。
手の保護具：保護手袋（塩化ビニル製、ニトリル製など）を着用する。
眼の保護具：保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用する。
皮膚及び身体の保護具：長袖作業衣を着用する。
：必要に応じて保護面、保護長靴を着用する。
衛生対策：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
：取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体
性状：淡黄色～黄褐色
色：エーテル様のにおい
臭い：データなし
pH：6
融点：データなし
凝固点：181
沸点：110
引火点：データなし
可燃性：データなし
爆発範囲：データなし
蒸気圧：データなし
相対ガス密度（空気 = 1）：9.25
密度又は相対密度：データなし
比重：3.310～3.320（20/40）
溶解度：水に溶けにくい（0.08%、25）。
：エタノール、エーテル、アセトンに溶けやすい（混和しやすい）。
オクタノール/水分分配係数：log Pow=2.3
発火点：データなし
分解温度：> 270
粘度：データなし
動粘度：0.84 mm²/s（20）
粒子特性：データなし
GHS分類
引火性液体：引火点110 は93 超であることから、区分に該当しないとした。
自然発火性液体：常温の空気と接触しても自然発火しないことから、区分に該当しないとした。
水反応可燃性化学品：本品は水に溶けにくい、水に対して安定である（水との混触で可燃性ガスの発生がない）と考えられるので、区分に該当しないとした。

10. 安定性及び反応性

安定性（反応性・化学的安定性）：通常取扱条件において安定である。
：本液体は気化しやすい。
：光、空気（酸素）、湿気により徐々に変質する。
危険有害反応可能性：強酸化剤と混触すると反応することがある。
：アルカリ金属またはアルカリ金属塩と激しく反応する。
避けるべき条件：日光、光、熱、湿気
混触危険物質：強酸化剤、アルカリ金属及びその塩
危険有害な分解生成物：一酸化炭素、二酸化炭素、よう素、よう化水素

11. 有害性情報

急性毒性	： 経口 分類できない。 経皮 分類できない。 吸入（蒸気） 分類できない。 吸入（粉じん） 分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	： 分類できない。 なお、本物質は皮膚刺激性をもつとの記載がある（GESTIS（2015））が、List 3の情報であるため分類には用いなかった。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	： 分類できない。 なお、本物質は眼刺激性をもつとの記載がある（GESTIS（2015））が、List 3の情報であるため分類には用いなかった。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	： 分類できない。
生殖細胞変異原性	： 分類できない。
発がん性	： 分類できない。 知見データがなく、産衛学会やIARC、ACGIH、NTP、EPA、OHSAの国際評価機関の報告がないため、分類できない。
生殖毒性	： 分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	： 分類できない。 気道を刺激することがある。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	： 分類できない。
誤えん有害性	： 分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	： 分類できない。
水生環境有害性 長期(慢性)	： 分類できない。
残留性・分解性	： データなし
生物蓄積性	： 低濃縮性（log Pow=2.3）
土壤中の移動性	： データなし
オゾン層への有害性	： 本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていないため、分類できないとした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	： 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。 都道府県知事などの許可（収集運搬業許可、処分業許可）を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して廃棄物処理を委託する。 廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 必要に応じて、廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。 （参考）燃焼法 可燃性の溶剤等と共に噴霧するか、又はケイソウ土、木粉（おが屑）等に吸収させて、スクラバー付き焼却炉の火室で、できるだけ高温（ダイオキシン発生抑制のため850℃以上）で焼却する。
汚染容器及び包装	： 内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分する。 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後、産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国内規制（適用法令）	
陸上規制	： 消防法、道路法の規定に従う。
海上規制	： 特段の規制なし（非危険物）
航空規制	： 特段の規制なし（非危険物）
国連番号	： 非該当
国連分類	： 非該当
品名	： 非該当
海洋汚染物質	： 非該当
MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送の有害液体物質の汚染分類	： 非該当
特別の安全対策	： 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
重量物を上積みしない。
必要に応じ移送時にイエローカードを運搬人に保持させる。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (政令番号 第606号「沃素及びその化合物」、対象重量%は 1) 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (政令番号 第606号「沃素及びその化合物」、対象重量%は 1) (令別表第9) (注) 令和7年4月1日以降、政令番号: 令別表第9の第32号に変更
毒物及び劇物取締法	: 皮膚等障害化学物質やがん原性物質に非該当 (安衛則第594条の2、安衛則第577条の2)
消防法	: 非該当 : 危険物第 4 類引火性液体 第三石油類 非水溶性液体 危険等級 指定数量2000L
化学物質排出管理促進法 (PRTR法)	: 非該当〔2023年(R5年)4月1日施行の法改正にも非該当〕
船舶安全法	: 非該当
航空法	: 非該当
輸出貿易管理令	: キャッチオール規制 (別表第1の16項) HSコード: 2903.69 第28類 無機化学品 ・輸出統計番号 (2024年1月版): 2903.69-000 「炭化水素のハロゲン化誘導体 - 非環式炭化水素の臭素化誘導体及びよう素化誘導体: その 他のもの」 ・輸入統計番号 (2024年4月1日版): 2903.69-020 「炭化水素のハロゲン化誘導体 - 非環式炭化水素の臭素化誘導体及びよう素化誘導体: その 他のもの - よう素化誘導体」

16. その他の情報

(注) 本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

参考文献	:
化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ	化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編)	三共出版
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances	NIOSH CD-ROM
GHS分類結果データベース	nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHSモデルMSDS情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点においての知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2019に準じ作成しています。